

番号	23
事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業費【拡充】
予算額（主な支出）	133,333 千円（委託料 126,468 千円他）
特定財源	なし
事業の概要	新型コロナウイルスワクチンを定期接種B類疾病として応需個別医療機関に委託し実施する。（定期接種B類疾病：個人予防に比重を置く。インフルエンザ予防接種、高齢者肺炎球菌予防接種と同様）
	[事業費] 133,333千円（委託料：126,468千円、その他：6,865千円） 市民への周知、予診票等の作成、健康管理システムへの接種歴入力委託、個別医療機関への予防接種委託経費
	[主な内訳] 定期予防接種委託料（122,914千円）
	・ 想定接種率 60% 接種見込 30,274人 ・ 自己負担額 3,000円(案)（生活保護受給者は無料） （国が示す標準的な接種費用7,000円をもとに設定。薬剤価格が確定後、医師会等と協議の上決定） 自己負担あり：4,000円×29,668人＝118,672,000円 自己負担なし：7,000円× 606人＝ 4,242,000円
	[対 象] 65歳以上の市民（50,456人：令和5年10月1日現在 住民基本台帳） 60～64歳で重症化リスクの高い方（範囲は季節性インフルエンザの定期接種と同じ） 上記対象者以外は「任意接種」として接種可能（全額自己負担）
	[接種期間、回数] 年1回、秋冬 [接種場所] 応需個別医療機関
事業の背景など	新型コロナウイルス感染症のまん延防止を図るため、令和2年2月17日厚生労働大臣指示により開始された特例臨時接種が令和6年3月31日終了となる。 令和5年11月22日厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会において、令和6年度以降は予防接種法第5条第1項の定期接種B類疾病として位置づけられることとなった。
目的・効果など	新型コロナウイルス感染症の重症化予防を図る。
事業スケジュール	R6.4～9 月 定期接種に向けた準備（予診票等の印刷、実施要領作成等） R6. 秋冬 新型コロナウイルスワクチン定期接種の実施
添付資料	なし
備考	なし
担当課	健康福祉部 健康づくり課 新型コロナワクチン室 電話 31-1212